

分野：自然への愛着 生態系・生物多様性

「よしみ里山プロジェクト」

環境アドバイザー

田島 麻帆

対象 県内親子参加者 22名/全体 29名

所要時間



4時間

場所 埼玉県比企郡吉見町田甲

実施時期

令和3年 4月 18日

概要

みんなで守ろう！育てよう！よしみ里山プロジェクト

この活動は、埼玉県比企郡吉見町の雑木林を所有する山主から、人手不足で荒廃した林を何とか出来ないかと相談を受けたことがきっかけで2012年より保全活動を開始。数年間の手入れにより貴重な野草や野鳥の観察まで回復。2018年より年6回、親子向け野外ワークショップ活動を実施し、森林ESDや里山保全活動を継続している。

プログラムの
ねらい

テーマ 木をつかう（2月）木をうえる（3月）振替活動

活動地は、クヌギやコナラの広葉樹林。管理用に伐採した木を利用して、しいたけ（きのこ）の菌打ちを体験します。昨年菌打ちした榎木にしいたけが育つ様子も観察。また、3年前から実施している果樹類の植樹も体験。冬から春にかけて行う里山保全管理について、2つの活動を体験する。（緊急事態宣言により中止した活動の振替実施）

プログラムの内容

1 10:30~12:30 (120分)

午前活動 オリエンテーション、しいたけの榎木栽培の観察、菌打ち
雑木林の冬から春の管理活動には、成長した木の伐採とその利活用がある。
クヌギやコナラの木の利活用として、しいたけ栽培について体験する。

2 13:30~14:30 (60分)

午後活動 実のなる木の植樹
雑木林の冬から春の管理活動には、木を植え育てる活動がある。
皆伐された場所をスコップで掘り、腐葉土を入れて、みかん、ゆず、柿、梅などを植樹する。

・日本の里山は、森林がもたらす豊かな恵みを暮らしに活かしてきた日本人独特の関わりの場。人と生き物が共に生きる自然環境である。活動地は、クヌギやコナラなどが大きく成長している。吉見の風土にあう果樹を植え、その成長の観察や、伐採した木を利用した榎木でしいたけを育て、きのこの成長を観察する。

受講者の反応

- ・はじめて、木を植える体験をしました。穴掘りがとても大変でした。筋肉痛になりそう。
- ・しいたけが成長している様子を見ることができた。しいたけは、菌の粉末を木にふりかけるのかと思っていたが、しいたけ菌を打ち込む体験によって、しいたけの育て方がわかった。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



左上：しいたけ菌打ちの様子

穴を均等にあげ、木にしいたけ菌を打ち込む

右上：しいたけ菌打ちの様子

同様

中：果樹の植樹

穴掘り、腐葉土を混ぜ、木を植える

左下：果樹の植樹

植樹の 体の様子